

❀ 第2回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 平成30年12月13日(木) 19:00~21:00

場所 香焼公民館

参加者 地域の皆さん 49人



1 第2回までに話し合ってきた内容

第1回 (11/8)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②伊王島・香焼・深堀エリアの将来を考えるうえで、**見直した方がいいと思う施設**について話し合いました。



第2回 (12/13)

- ①公共施設の種類ごとに**市全体の施設の配置の考え方**と、伊王島・香焼・深堀エリアにある**施設の配置の考え方**をご説明しました。
- ②市がご説明した**配置の考え方**に対して、**意見、アイデア**がないか話し合いました。



2 公共施設の配置の考え方（市からの説明）

レクリエーション施設

海洋型施設



伊王島海水浴場交流施設

レクリエーション施設のうち、海のレジャー施設といった海洋型の施設は、長崎市の貴重な資源である美しい海を活かした海水浴等、多くの方を地域に呼び込むことができ、市全体や地域の活性化に役立つ施設は存続しますが、それ以外の施設は将来的に廃止します。

広場型の施設は、スポーツやイベント等で地域の皆さんに利用されています。将来の利用増加が見込まれたり、今後も同様の利用が見込まれる施設は存続しますが、それ以外は廃止します。

広場型施設



伊王島ふれあい広場

❀伊王島海水浴場交流施設は、伊王島地区の交流人口を増やす目的があります。運営については、民間のアイデアや創意工夫で、より魅力的な施設となるよう、誰もが利用できることを条件として、民間移譲を検討します。

❀伊王島ふれあい広場は、伊王島大橋開通にあわせて、地域の活性化や観光振興を目的に整備しましたが、現状では夏場の海水浴客の臨時駐車場としての利用にとどまっています。そのため、広場の設置目的や利用状況、将来的な活用予定等を踏まえたうえで、今のイベント広場や駐車場としての機能を維持し、地域の活性化につながる場合は、民間移譲を検討します。

❀伊王島ゲートボール場は、現在、活用されていないため、廃止したいと考えています。廃止後は、売却等による有効活用を検討します。

伊王島ゲートボール場

2 公共施設の配置の考え方（つづき）

スポーツ施設



スポーツ施設は、生涯にわたってスポーツに関わることで、健康で豊かな生活を送ることができ、また、競技力の向上を図ることで、地元選手が活躍できるよう、その活動の場として、重要な役割を担っています。



●地域の皆さんの身近なところには、気軽にスポーツに親しむことができる場として、公園機能の一つとして配置されているグラウンドを継続して配置する考えです。また、街区公園等の広場やふれあいセンター等の軽スポーツ室の活用、学校の体育館などの開放を進めています。



●市内の中央、東部、南部、北部の4つの各地域内において、各地区からの交通の便が良い交通結節点などに、生涯スポーツの推進や競技力の向上のために、スポーツ専用施設として、体育館や庭球場を配置する考えです。



●都心部及び都心周辺部には、九州大会や県大会などの大規模な大会に利用するためのスポーツ専用施設を配置します。



深堀体育館

❁深堀体育館は、現在の施設をこれからも活用していただきたいと考えています。将来、大規模改修や建替えで多額の費用が必要となる場合には、その時の利用状況もみながら、施設のあり方を見直していきます。

❁体育館に併設する「老人デイサービスセンター」の貸付期間が平成32年3月で終了します。デイサービス退去後の空きスペースについては、有効な活用方法を検討します。

博物館等

博物館等は、教育の振興や学術・文化の発展のために設置していますが、老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。

❁深堀貝塚遺跡資料館は、深堀地区の原始時代から現在までの地域の歴史や成り立ちを学ぶことができる出土品を展示しています。

❁現在の施設は、老朽化や白蟻の被害により階段を含め2階の利用が難しいことや、展示棚も老朽化していることから、今後、建物の状況を考慮した修繕は行っていますが、将来的には、多くの人に観覧してもらおうと、人が多く集まる場所に展示することが望ましいと考えており、出土した場所付近にある施設との複合化を図りたいと考えています。



深堀貝塚遺跡資料館

学校



学校の適正配置については、教育委員会が地域と協議させていただいています。



伊王島小学校



香焼小学校



深堀小学校



伊王島中学校



香焼中学校



深堀中学校

放課後児童クラブ



ちびっ子ハウス
(深堀小)



香焼学童クラブ
きらりキッズ (香焼小)

放課後児童クラブは、子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るため、小学校区ごとに配置されています。

基本的には、小学校の適正配置と合わせて、事業者による運営の統合を働きかけていきます。

学校給食共同調理場

学校給食共同調理場については、学校の適正配置と関連することから、その進捗と併せて整理したいと考えています。



香焼学校給食
共同調理場



伊王島学校給食
共同調理場

コミュニティ施設



地域の皆さんが身近にふれあい、さまざまな活動を行っていく場所として、気軽に立ち寄ることができる地域コミュニティ活動の場はこれからも必要です。今後は、ふれあいセンターや地区公民館などに加え、特定年齢層を利用対象とした老人憩の家や児童館・児童センターなどの施設も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。



- 地域の皆さんが最も身近な場所で、地域の話し合いなど、さまざまな地域活動に利用する地域コミュニティの活動拠点は、概ね小学校区の範囲への配置を考えています。
- 小学校区内に同じような使い方ができる施設があれば、見直していく必要があると考えています。



- 多数の参加が見込まれる活動などのため、小学校区の施設よりも広いスペースや、調理室などの特定の設備が必要な施設は、小学校区の施設を兼ねる形で、概ね中学校区の範囲への配置を考えています。



- 中学校区を超えた大規模な催しなどのため、対応できる広いスペースや、ホールなどの設備が必要な広域的に利用できる施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便の良い場所への配置を考えています。



- 市域全体から利用される施設は、交通の便のよい都心部及び都心周辺部に配置する考えです。

深堀小学校区



深堀地区
ふれあいセンター

- ❁深堀小学校区には、深堀地区ふれあいセンターがあります。地域の皆さんがさまざまな地域活動に利用できる施設として、現在の施設をこれからも活用していただきたいと考えています。

香焼小学校区



香焼公民館



老人憩の家香焼ひまわり

香焼小学校区には、香焼公民館と老人憩の家香焼ひまわりがあります。

- ❁香焼公民館については、地域の皆さんのコミュニティ活動に利用できる施設として、現在の施設をこれからも活用していただきたいと考えています。しかし別館は、ほとんど利用されていないため、活用策の検討が必要だと考えています。
- ❁老人憩の家香焼ひまわりは、多目的広間や研修室があり、コミュニティ活動のために使える機能を持っていますが、現在は60歳以上の方しか利用できません。将来的には、その時の利用状況を踏まえながら、施設のあり方を検討する必要があると考えています。

伊王島小学校区



伊王島開発
総合センター



ヴィラ・オリンピカ伊王島

伊王島小学校区には、伊王島開発総合センターとヴィラオリンピカ伊王島があります。

- ❁伊王島開発総合センターには、会議室、和室、調理室などがあり、地域の皆さんがコミュニティ活動に利用できる施設として、現在の施設をこれからも活用していただきたいと考えています。しかし、施設がバリアフリーに対応していないため、今後、老朽化による雨漏りや附属設備等の故障を優先して修繕しながら、建物の構造や改修費用等を考慮し、最適な方法でトイレなどのバリアフリー化を検討します。
- ❁ヴィラ・オリンピカ伊王島には、主に地域の皆さんが利用されている図書室と、主に島外からの観光客が利用されている多目的ホールなどがあります。会議室、和室、調理室などがなく、コミュニティ活動の機能を確保するためには大規模な改修が必要となりますので、コミュニティ活動に利用できる施設としては、伊王島開発総合センターを活用していただき、ヴィラ・オリンピカ伊王島は、図書機能を近隣施設へ移設したうえで、売却等の有効活用を図りたいと考えています。

2 公共施設の配置の考え方（つづき）

図書館

市立図書館と各地区のコミュニティ施設等の図書室は、ネットワークで繋がれており、身近な場所で本の貸出や返却の図書館サービスを利用できるようになっています。



香焼図書館

- ❁香焼図書館は、老朽化しており、バリアフリー未対応であるため、香焼地域センター内の空きスペースへの移転を予定しています。移転後は、現在の建物は老朽化しているため解体し、跡地の有効活用を図ります。



診療所

診療所は、離島やへき地などの民間の医療が不足している地域へ配置します。

- ❁伊王島国民健康保険診療所は、現在の施設を引き続き適正に管理します。



伊王島国民健康保険診療所

港湾施設

港湾施設は、地区の住民や観光客などの航路利用者に必要不可欠であるため、航路が存続する限り継続して配置します。

- ❁伊王島港ターミナルは、現在の施設を引き続き適正に管理します。



伊王島港ターミナル

ながさき暮らし体験施設

長崎での暮らしを体験して、定住へ繋げていくための施設です。移住定住促進対策については、空き家・空き地バンクの充実をはじめ、民間による体験施設の確保を図るとともに、地域住民との連携による受け入れ態勢の充実や移住希望者とのマッチングを図るなど、ソフト事業を充実させます。

- ❁市が所有する体験施設は、ソフト事業への転換を行った後廃止し、廃止後の施設については、売却等による有効活用を図ります。



伊王島交流滞在型宿泊施設

市営住宅

今後、人口・世帯数が減少し、民間の空き家も増加するため、市営住宅の需要は減少すると予想されます。そのため、セーフティネットとしての役割を担いながら、将来的には市全体の市営住宅の総戸数を減らしていく方針です。

今後、建て替える際は、できるだけ集約して効率的な維持管理ができるようにし、配置は、市内各エリアにおける特性を十分勘案して、見直します。



田ノ浦住宅



深浦住宅



恵里上住宅



本村住宅



多尾住宅



瀬戸屋敷住宅



塩町住宅

- ❁塩町住宅は、2014～2017年にかけて、集約建替えが行われましたので、現在の施設を適正に管理していきます。

- ❁そのほかの住宅についても、現在の施設を適正に管理し、大規模な改修や建替えが必要となるタイミングで、人口などの状況を踏まえ、規模の検討を行います。

庁舎等

身近な手続きや相談ができ、地域のまちづくりを支援する機能は、引き続き必要と考えています。



伊王島地域センター



香焼地域センター



深堀地域センター

- ❁伊王島、香焼、深堀の各地域センターは、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。
- ❁余剰スペースがある場合は、周辺施設の集約や他の機能の取り込みにより、余剰スペースの解消を図ります。

公園



公園には、「避難場所等災害に対応できる機能」、「遊具等を活用した子どもの遊び場」、「スポーツ活動等での利用」、「健康寿命を延ばす健康づくり活動のための機能」など、多様なニーズへの対応が求められています。

市内における都市公園の市民1人当たりの標準面積は10平方メートル以上、市街地の市民1人当たりの標準面積は5平方メートル以上とし、都市公園の種類や目的及び誘致距離を勘案し、配置の均衡を図ります。



香焼総合公園



魚見岳公園



伊王島灯台公園

❁伊王島・香焼・深堀エリアの公園は、配置や面積の状況等から充足していると考えています。基本的には現状を維持することとし、公園再整備の際には、社会状況の変化を踏まえながら公園毎の施設のあり方や機能分担、統廃合等の検討を行い、利用者のニーズに合った整備を進めていきます。

職員宿舎

職員宿舎は、危機管理や人材確保の観点から配置します。既存施設の利用に限らず他の市の財産も活用し、機能の確保に努めます。



伊王島国民健康保険
診療所長宿舎



伊王島国民健康保険
診療所看護師宿舎

❁医師宿舎は、安心できる医療環境づくりや医師確保の観点から、診療所の近隣に配置します。

❁看護師宿舎については、看護師が医師ほど採用が困難ではなく、島外からも通勤が可能であり、また10年以上利用されていないため、廃止します。廃止後の施設については、他の用途への転用や貸付を含め、有効な活用方法を検討します。



地域おこし協力隊用宿舎

❁地域おこし協力隊用宿舎は、隊員が地域との良好な関係を保ちながら、地域の活性化に向けさまざまな活動を行うため、活動地域内に居住する必要があることから、事業が継続する間は確保します。なお、住居確保の方法については、今後の事業の実施手法にあわせて、柔軟に対応していきます。

その他



伊王島地区活性化
交流拠点施設

❁伊王島地区活性化交流拠点施設には、地元の水産物などを使用した土産物などを開発、製造する「加工所」があり、またペーロン船が保管されています。今後、地域活性化のためにさらなる活用が図られるよう、使い方を工夫していく必要があります。



香焼ペーロン船格納庫

❁香焼ペーロン船格納庫は、地元チーム所有のペーロン船を保管しています。今後、地元への移譲も含めて、建物の維持管理の方法を見直していく必要があると考えています。

遊休資産

行政目的を終えた建物や土地については、民間への積極的な売却や貸付に取り組むなど、資産の有効活用を図ります。



旧伊王島生活支援ハウス



旧多尾教職員住宅1号



旧馬込教職員住宅



旧山中職員住宅



旧多尾教職員住宅2号



旧職員住宅
(浦下1・2号)

❁旧伊王島生活支援ハウス及び旧山中職員住宅は、資産の有効活用を図るため、売却の検討を行っています。

❁旧多尾教職員住宅1号の2戸のうち1戸は、地域おこし協力隊員の宿舎として活用しています。地域おこし協力隊の宿舎が別の場で確保できるようであれば、資産の有効活用を図るため、売却や貸付を含めて検討を行います。

❁その他の職員住宅についても、資産の有効活用を図るため、売却や貸付を含めて検討を行います。

3 グループワークで出された主なご意見

グループワークで話し合っていたいただいた内容について、班ごとに発表していただきました。

- 伊王島地域センターは、空き室が多いので、伊王島開発総合センターに行政機能に移して、機能を一つの建物に集約してはどうか。
- 住宅用地を探している人も多いので、伊王島のながさき暮らし体験施設は、建物が新しいうちに、早く売却したほうがいい。

1班

- 香焼パーロン船格納庫は、地元に移譲されると、大規模修繕のときなどに、地元では財政の負担が厳しいのではないかと。
- 遊休資産は、売却することをPRしたり、地域の人の意見を聞いたり、利用価値がなければ廃止したりと、様々な検討をする必要があるのでは。

5班

- 伊王島診療所の駐車場が少ないので、伊王島ゲートボール場の跡地を診療所の駐車場にしてはどうか。
- 旧伊王島生活支援ハウスなどの遊休資産は、売れるうちに早く売った方がいいのではないかと。

2班

- 深堀貝塚遺跡資料館を、縄文、弥生から現代までの民俗資料館にしてほしい。
- 深堀には、百人単位で集まれる施設がなく、深堀体育館で敬老会などを行っているが、冷暖房がないので、夏は暑く、冬は寒く、とても辛い。多目的に利用できる施設にしてもらいたい。
- 深堀地域センターは、現在地は交通の便が良くないので、多くの人利用しやすいよう、表の方（大通り）に移転したほうがいい。

6班

- 香焼地域センターの2階、3階が空いているので、地元で知恵を出し合って、お金を生み出せるようなもの（機能）にして、賑わせていったらどうか。
- 香焼はチューリップ祭りも盛んだし、自然豊かな香焼総合公園にも花があるので、花の町としてもっとPRして、多くの人に訪れてもらってはどうか。

3班

- 深堀貝塚遺跡資料館が移転された場合、施設を改修し、図書館と児童館の複合施設にしてはどうか。または、跡地を駐車場にしてはどうか。
- 深堀地区老人デイサービスセンターが退去した後の空きスペースに、子育て支援センターと児童館を併設してはどうか。

7班

- 香焼パーロン船格納庫は地元への移譲を考えているとのことだが、どういった形での移譲となるのか、早く話を進めてもらいたい。
- 香焼の旧職員住宅は、景観上も治安上も良くないので、取り壊すなら早く取り壊してほしい。スピードを持って進めてほしい。

4班



【講評】（アドバイザー：一般財団法人 建築保全センター 池澤 龍三氏）

- 老朽化している建物を改修するにしても、売却するにしても大事なものはタイミングだと思います。日本全国、空き家が増え、これから土地が余ってくる状態になるので、売却すると決めれば、早く実行に移していくことが大事です。
- 公共施設がなくなると寂しくなるというのは、なんとなく先入観としてあるのかもしれませんが。だから「賑やかな施設が欲しい」「交流人口を増やしたい」となるんだと思います。しかし、これまでのように人口は増えないし、社会情勢も変わらないなかで、今までのようなしくみで社会を回していくことはなかなか難しくなっています。地域で考えるという面も大切ですが、市全体で考える、市域を超えて県単位で考えるなど、地域の力を支えるためのバックアップとしての広域の力という考え方も大切になってきます。

次回の対話では・・・

第2回までの対話を踏まえて、市が検討した結果をお伝えします。それに対して、意見交換を行いたいと考えています。また、対話全体のまとめを行います。

第3回

日時：平成31年1月17日（木）19:00～21:00

場所：香焼公民館 会議室1、2

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）